

目 次

	ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	PtSi 赤外線カメラの開発と銀河中心領域の観測 上野宗孝 399
EUREKA 〈研究紹介〉	ブラックホール天体からのX線ゆらぎ 408 嶺重 慎・竹内 充・根来 均
天球儀 〈読物〉	天文教育をとりかこむ状況と対応策 高柳悦夫 412 —学習指導要領の問題点を考える— 理科教育課程改訂に向けて 磯部琇三 416 宇宙地球誌における天文学 福江 純・赤石和幸・石井和彦 423 奥埜良信・小西啓之・山口 弘・山下 晃・横尾武夫
シリーズ	《ハイテクとおめがね事情(9)》 田中 済 426 赤外シミュレータ
書評	彗星の木星衝突を追って 428
雑報	1994 年度博士論文・修士論文タイトル一覧 天文天体物理若手の会 429 日本学術会議だより No. 37 より抜粋 434 第 11 回 (1995 年度) 京都賞受賞者に林 忠四郎京都大学名誉教授 435
寄贈図書リスト	435
月報だより	435
星空市場	438

表紙説明

銀河中心まで可視光で観測しようと思うと、30 等級に及ぶ吸収に阻まれ見通すことができない。しかし赤外線カメラを用いてやると、たった 25 cm の望遠鏡でこのように銀河中心の観測が可能になる。赤外線カメラの登場は赤外線の「窓」をさらにもう一度大きく開けなおしたと言ってよいだろう。

(SKYLIGHT 参照)

(表紙デザイン 藤居保子)